

働く障害者の勤続表彰式



先日、中野区で働く障害者の勤続表彰式がありました。区内在住の障害のある方で、企業で継続して就労している1年以上の人、5年以上の人、10年以上の人が勤続表彰を受けるもので、区長も激励に来ていました。

5年表彰には本校の卒業生がいました。この5年間同じ飲食業に就労していますが、最初は思うようにできないことが多く、支援機関と学校でお店を訪問した際に辛さを吐露して涙することや、お店の人となじめず早退が続いてしまったことがありました。そのような中でも、会社と支援者とが一緒になってどうやったら彼女が働き続けられるかをあきらめずに考え、彼女がトライアンドエラーを繰り返しながら自分の力をつけてきました。

来賓の祝辞の中で、「家族の人や職場の人に感謝の気持ちを忘れないで…」という話がありました。これは障害の有無に関わらず、社会で生きていく上で誰もが必要なことですね。自分も家族や職場の人への感謝の意を示さなければ…と思いました。

(進路主任 小野寺)